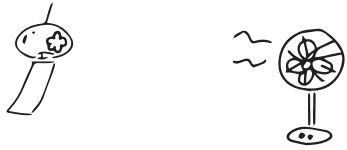


Youth Manna

2021/8/16 - 8/22



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/8/16(月)

使徒 23:23-35

パウロ殺害計画の話聞いた千人隊長はパウロをエルサレムからカイサリアに護衛を付けて送ることに決めました。どれくらいの数の護衛だったか、23節をもう一度読もう。想像するとすごい規模だね！

26節で、この千人隊長の名前がクラウディウス・リシアであることが分かるね。使徒の働きを記したルカは、彼の名前を記録に残すべきだと思ったんだ。今の時点では、パウロはこれからどうなってしまうのかと思うけれど、使徒の働きを読み進めていくと、パウロの人生が神様の確かな御手の中にあったことが分かるよ！

君の人生も同じく神様の御手の中にある。だから、自分だけで進もうとせず、いつでも導きを求めて祈るようにしよう！将来に関わることも真剣に祈っていこう！

2021/8/17(火)

使徒 24:1-9

パウロは総督フェリクスの前に立たされます。弁護士テルティロのパウロを訴える内容をよく見てみよう。

彼のパウロに対する言葉は、印象良くない言葉が多く使われている。パウロがどれほど危険な存在かということ的印象付けようとしているんだ。そして彼の訴えの中心は「宮を汚そうとした」ことだけど、ここでは一人の証人も立てていない。しかも証拠がなかったので「閣下ご自身で...」と印象付けに頼っている。

テレビやネット、新聞でのニュースや報道も、それが本当に証拠に基づいていることなのかどうか、注意する必要があるね。本当と偽りが混ざっているような世の中であって、いつでも真実と言える聖書が与えられていることを感謝しよう！聖書通読も頑張って取り組もう！

2021/8/18(水)

使徒 24:10-27

パウロはテルティロの訴えに対してすぐに自分の反論を始めた。「神の前にも人の前にも責められることのない良心を保つように、最善を尽くしてい」(16)ると述べ、事実のみを伝えた。テルティロの訴えを証明する者は誰もおらず、パウロの無実は明らかであったが、フェリクスは千人隊長リシアが来てから判決を下すと、裁判を延期した。結局リシアは来なかったのか、裁判の延期は2年も続いた。延期はフィリクスにとっては好都合であった。パウロの無罪を知っていたフィリクスはパウロに制限付きの自由を与えつつ、拘束し続けることでユダヤ人の機嫌を取ることができた。その後フィリクスはパウロを呼び寄せて話を聞いたが、そのメッセージに恐れをなし、「また後で」と信じることをしなかった。

16節のパウロの生き方のように、いつも正しい行動をしていけるよう祈ろう！

2021/8/19(木)

使徒 25:1-12

正当な裁判ではパウロを断罪できないと知っていたユダヤ人たちは、総督フェリクスから後任としてフェストゥスがくると、改めてパウロを訴えて、エルサレムで裁判をする機会を設けるように頼んだ。目的はエルサレムで裁判にかけることではなく、向かう道中に暗殺することにあった。しかし、それは叶わず、カイサリアでの裁判になり、更にローマ市民権を持っているので、カエサルに上訴すると言ったパウロの言葉によってローマへの道が開かれた。神様は、パウロを取り巻く全ての環境を用いてローマに導かれたのである。

私たちの中ではマイナスだと思える事柄が続く時もある。でもそれすら神様は用いることができる。全てを通して働かれる神様に期待しよう！！

蚊の日

2021/8/20(金)

使徒 25:13-27

▶パウロはローマ総督フェストゥスに弁明しカエサルに上訴したが、フェストゥスは困っていた。パウロを訴える理由がなかったので、上司のカエサルに何て説明すれば良いか分からなかったんだ。

▶一方、19節を見るとフェストゥスはパウロの主張を正確に理解していたことがわかる。パウロは生きている主イエスを証ししていた。そこでフェストゥスは、ユダヤの事情に詳しいユダヤ人の王アグリッパと彼の妹ベルニケに相談した。

▶2年間も変わらない状況を過ごしながら、パウロは時が来たときに語るべきことをしっかりと語っていた。パウロは聖霊と親しい関係を持ち続けていた(マタイ 13:11)。私たちも日々そんな関係を築きたい。

2021/8/21(土)

使徒 26:1-18

パウロはアグリッパ王に弁明するチャンスが与えられたことにまず感謝を表してから、イエス様の福音を自分の体験、証も含めて語ったね。

そこでパウロは、もともと自分がクリスチャンを迫害していたことも正直に話していた。そして、その中で神様が自分に語られたことを証したんだね。

みんなは友だちに教会のことや、信じてるイエス様について聞かれたらどう答えるかな？

どんな時でも大胆に証ができるよう準備をしていこう！そしてそれを語る勇気が与えられるように祈ろう！

2021/8/22(日)

使徒 26:19-32

アグリッパ王はモーセから福音を語られ、「王様は預言者たちを信じておられますか」と決断を迫られました。しかし、アグリッパ王は神の招きを明確に感じながらも、「おまえは、わずかな時間で私を・・・キリスト者にしようとしている」と、神には応答せずに、信仰へと踏み出すことはありませんでした。

福音を確かに聞いたアグリッパ王でしたが、周りの評価や反応、これまでの歩みを捨てたくない思いが勝ったのでしょうか。私たちは、同じように多くの人々の前で、自分の信仰が試されることはないかもしれません。

しかし、毎日の生活の中で、「神様を選ぶかどうか」に大きい小さいはありません。今日、神様が私を招いておられる語りかけに、応答することができるでしょうか。「今日、私はイエス様を選びます」と宣言して祈り、一日を始めよう！